

編集委員だより 1612

☆：10年ぐらい前、右頬にブツブツができた。ニキビではないし何だろうと皮膚科へ行った。医者は、あんた車をよく運転するかと問われ、はい、しょっちゅうですと言った。右頬に日がよく当たった為にいぼができたんやと言われた。ドライアイスか何かをちょいちょいと付けたようだったが、それだけで10日ぐらいで消えた。今度また皮膚科へ行った。今度は男であっても、日焼け止めクリームを塗らんとあかんでと言われた。

Wa da

☆：婦人雑誌に「体内のエントロピーを捨てながら生きる」と？の記載文があった。読み進むとエントロピーとは熱力学における「無秩序性・乱雑さ」とある。体に置き換えると日々の生活で体内にたまっていく錆や汚れの廃棄物。これらを上手く捨てるには息や“ときめき”にくっつけて放出すれば良いらしい。“ときめき”を見つけて体の中をきれいにしよう。

miki*e

☆：今年の荒井中学校のトライやるウィークで観瀆処～生石神社～日笠山コースに参加した。以前日笠山夫婦岩周辺には目の覚める様な野路菊が一面に咲いていたが、あたり一面雑草が生い茂り野路菊が草の間から申し訳程度に咲いていたのには驚かされた。今までは個人の方の尽力で立派な花が咲き誇っていたそうだが、ご高齢で出来なくなったとの事。高御位山の巻道の雑草も同様で個人の誠意に頼っている面が多いのに気付かされた。行政の対応が問題か???

もり

☆：登山家の田部井淳子さんが77歳で亡くなった。「山が笑う」と言われる木々が一斉に芽吹く頃の山が好きで、一番元気の貰える季節だと書いている。晩年抗がん剤治療を受けながら、福島出身の彼女が東北の高校生1000名の富士山登頂を果たす事を目標に掲げたプロジェクトの発起人として、最後までその意思を強くもって生きましたが、7月が最後の富士登山となりました。高校生達のひと言、ひと言の中に「小さな一歩の頑張り」と「あきらめないこと」の大切さを感じたとも書いています。

ヤマ

☆：2年振りに「トライやる」に参加した。高御位山には常時登っているが、「播州の山を歩く(2)」の山歩きは初めてだった。このコースには、巨岩に「観瀆処」の文字を刻んだ碑石が在り日頃から観賞したいと思っていた。碑石の大きさに驚き先人達の偉業に改めて感服した。その後日笠山に登り牛谷地区に下山した。バスの時刻に間に合わず、荒井中学校までコンクリート道をテクテク1時間程歩いた。

nishiguchi

☆：ヤマケイオンラインで登山計画を時々立案している。山名の検索や内容は記入しやすく重宝している。しかし、里山登山が多い私の場合、コースタイム計画書は山城に限られており、計画立案や警察へのオンライン登山届等利用できない。全国の山で使用できるのは夢なんだろうな！

r-sawa

☆：最近、高齢者ドライバーの交通事故が多発している。原因はいろいろあると思われるが、その一つに認知症による要因が疑われている。私自身、同じ年代だけに人事でない気持ちである。認知症患者は現在65歳以上では7人に一人(15%)いると言われている。確実な予防方法は無いらしいが、日常生活で努力すれば認知症にならないで済むか遅らせることは可能とのこと。予防対策を研究して是非実行したいと思う。

なべ

会員だより 1612

☆：9月に初孫が元気に誕生し、ピッカピカのおばあちゃんになりました。住まいが近所なので、ほぼ毎日手伝いに行き、時おり見せる赤ちゃんの笑顔に癒されています。小さい身体に秘められたパワーに、今さらながら驚くことが多いです。

F u j i w a r a

☆：今年も渋柿が届きつるし柿をしました。上手にボタボタの柿ができますようにと窓から見ていて、例年同じ事の繰り返しができる幸せを感じています。♪

A e

編集委員だより 1611

☆：いつだったか、土曜トレで檀特山に登っていたとき、虫よけネットの色は白か黒かと、わいわい言っていたら、他のグループの人が、白でない方がよいと言った。白は光を散乱してぼかす。だから家のカーテンは白が使われ、外から中が見えにくいのだと。そんな違いがあったとは！

W a d a

☆：夏、美しく咲いたミニケイトウの花、花跡の土をそのままにしていたら、何と芽が出てきて、おまけに花まで咲いている。花の長さは2 cm程度である。開花時期は夏と思っていたが、7月から11月と長いようなので、もう少し楽しめそうである。最後はドライフラワーにできるといいな。

r-sawa

☆：今年の夏山集中山行で甲斐駒ヶ岳コースに参加した。仙流荘横の林道バスターミナルにあった南アルプス案内板にはなぜか甲斐駒ヶ岳の表示がなく、木曾駒ヶ岳の右側に東駒ヶ岳と記載されていた。ここは甲斐の山梨県でなく信州の長野県であるため、敵国の甲斐を使わずに東を使っているのかと思ひ戦国時代の名残りを感じた。

もり

☆：先月バイクの解体屋で手頃なスーパーカブを見つけて購入。ある程度の故障も織り込み済みだ。ホンダのパーツリストを入手してみると何千点という部品の全てに番号を付けてあり、ボルト1本から購入可能だ。構造がシンプルなのでプラモデルのように部品を交換。今では通勤と山のふもとまでの足となって大活躍。気分は高校の頃に戻ったみたい。これから冬に向かって寒さとの戦いだ、対策のための改造も楽しみ。

Fujimoto

☆：以前、迷惑メールに悩まされ迷惑メールブロックサービスを申し込んだ。その後、多少は少なくなったようであるが、依然として1～2件/日の迷惑メールが入ってくる。対策としてアドレスを替えることにした。登録先へのアドレス変更手続きなどその手間は大変で、本当にいい迷惑である。いやな思いをするよりいいかと考えました。当分は迷惑メールから解放されるかなと期待しています。

なべ

☆：5月半ばに「高齢者講習のお知らせ」ハガキが来て放置しておいたが、免許証更新の通知ハガキが来たのであわてて講習を申し込んだところ、近くの自動車教習所では免許証の有効期間に間に合う講習の予約が取れない、方々探し受講できたが、明石での免許更新センターでも、平日も相まってか高齢者の方が半数近く、いずれの場でも高齢者社会に入っているのを実感する。

ヤマ

☆：スマホデビューして1週間が過ぎました。何をやるにも「エッ！どうなったん？」「なんで、こんな画面が出るの？」の連続。メールの時は上下左右に指を動かして文字を選びますが、じゃんけんポンの「あっち向いてホイ！」のように指が動かずまどろしい。早くシャッ！シャッ！と指を滑らしたいな。今、天気図のアプリのインストールで迷ってます。どこがいいかしら・・・面白いアプリがあれば教えてください。

taniguchi

会員だより 1611

☆：毎週金曜日、加古川武道館で「なぎなた」の稽古をしています。流派は直新陰流古流なぎなた術の型でなかなか難しい、自分では出来たつもりでも次から次へと指摘されます。やはり武道は奥が深い、胴着にはかま姿の凛々しいお姉さま方に厳しく指導をうけ歓びに打ちふるえる今日この頃です。

Red tree

☆：高さ50m位の山に畑があり、野菜作りをしているが、最近、特にカラス、雉が多くなり、収穫前の野菜をついばまれてしまうので、すべて網をしなければならない。隣町のところにはアライグマが出没していると言う。こちらに来るのは時間の問題かも・・・。

OTANI

☆：地球温暖化はもう元に戻れない段階になっているのかも知れないということをTVで放送していた。北極・南極の氷が溶けて海水が日光に直接さらされて、より太陽エネルギーを吸収し易くなり、極地の永久凍土が溶けて地下に閉じ込められていたメタンガスが大気に放出されている。メタンガスは炭酸ガスの数十倍の温室効果があるとのこと。等々。

Wada

☆：今年の夏山集中山行は1コースの仙丈ヶ岳に登った。事前情報によると標高3,033m、累積標高+1,158m -1,158m、歩行時間は7時間50分である。これを目安として考えると、今回、1グループの歩行時間は10.5時間であった。これは休憩込の時間なので、休憩時間1.5時間として1グループは標準時間の約1.2倍の時間を要したことになる。今後の長距離山行計画に生かせようだ。

r-sawa

☆：8月下旬にシルバー人材センターの業務で教育委員会の発掘作業に従事した。高砂市旧市街の工楽松右衛門屋敷前の運河の船着場の埋立て跡の発掘であった。昭和14年頃に道路拡張のため埋め立てられた跡から護岸や石造りの階段等が現れた。松右衛門が江戸時代に革新的な織帆布を開発し全国に広め、海運業に影響を与えた名残を感じられた。

もり

☆：最近、納豆って匂（匂は冬）があると知って目からウロコです。だけど、納豆ってスーパーやコンビニで季節を問わずありますよね。これは納豆菌の仕業でもあるようですが、本来の納豆菌は糞（ワラ）に居ついており、雑菌も含め多数の菌がいて、この中の季節を問わず発酵し、匂いのしない菌種だけを純粋培養して納豆を作っているようです。道理で昔の味、匂いが無いわけだ。本物の納豆を探してみませんか。

Enya

☆：夏山で両足のふくらはぎと太もも合わせて4カ所が順番につる経験をした。今まで激しい運動で筋肉を酷使したときにつると思っていたが、今回の現象を見るとそれだけではないようだ。汗が止まらないので水を飲んだらもっと汗が出る。塩分が足りないと思って急に塩をなめたら嘔吐した。頭ではわかっているにもかかわらず実際にこうなると焦る。体が狂ったのかと。懲りたわけではないが、帰ってからしばらく山のことを考えたくなかった。

fujimoto

☆：この頃頻繁に、info@bosai.net から、「サルを目撃情報について」のお知らせメールを受信している。いつも目撃されているのは2匹だが、同じ猿が移動しているのかなあ？と、思う。猿を見かけた時の注意点は、不用意に近づかない。絶対にエサを与えない。眼を合わせない。大きな声を出して驚かさない。追跡や写真の撮影、長時間の観察はしない。等となっている。

nishiguchi

☆：以前、Wさんから注意があった日本郵政省のメールを思い出した。我が家のPCにも先程、「お荷物の発送手続きが完了しました」と株式会社ヤマト運輸の社名で、伝票番号、お届け先、云々の添付付きメールがあった。全く心当たりのないメールである。最近、他にも意味不明のメールが届いた。素早く削除を繰り返す。何とか対策をとらなければ・

miki*e

☆：稲美町の会社に徒歩で通勤しているが、田畑の中を通るので春のレンゲ、夏は緑一色の稲田、昨今は実り始めた栗や柿の実、たなびく稲穂、そして彼方の高御位山を背にして、四季の移り変わりを感じながら30分の道程だ。「黄金田の 彼方に浮かぶ 高御位山」

ヤマ

☆：9月より編集委員の仲間入りをさせて頂きました。いつも例会で当たり前のように手にしていた会報ですが、夏山集中山行の前日まで校正等のためにメールが飛び交うのに驚きました。また、例会の2日前には細かいチェックが入りながら手作業で製本作業が行われるのに感動しました。知らないことだらけですが、よろしくお願い致します。

taniguchi

会員だより 1610

☆：苗場山山行で秋山郷「のよさの里牧之の宿」の夕飯で頂いたお豆が今まで見たことがないくらい大きく美味しかった。宿にお土産として売っていたので、煮豆が大好きな私としては即購入。戻すこと丸2日、茹でこぼし3回、1時間ほどで柔らかくなり甘さ控えめに味を染み込ませ、待ちましたと味見。宿での味は忘れかけているが、美味しい！大満足！高原花豆は普通の花豆の3倍の大きさでびっくり豆でした。

尾越

☆：知人から無農薬米を分けていただくことになった。なかなか大変な手間ひまがかかっていることだろう。野菜の有機栽培を加西の農業大学校で教えてくれるらしい。行かないかと勧められた。来年は、畑を借りて有機野菜づくりに挑戦しようかな？

TAKIHARA

☆：新聞を見ると尖閣諸島周辺での中国による領海侵入が頻繁に報じられている。南シナ海での国際仲裁裁判所の裁定にも関わらず、理屈がどうであれ、自説を強引に通している。ワシのやり方に文句があるならかかってこいと言っている。腹立たしい事である。個々の中国の人は日本人と同じような考え方、感情を持っているとはよく聞くのだが。

Wada

☆：イチローが大リーグで3000安打を達成したときに語られた言葉。重いウェイトを使ったトレーニングはいつか行わない。体が大きくなるのと反比例してパフォーマンスが落ちた。関節の可動域を広げ、筋肉を柔らかく保つことが大事。これを聞いて登山のボッカトレを思い出した。同じじゃないかと。

fujimoto

☆：昨年7月頃からパソコンの動きが悪く困っていた。修理に出すと15～20日必要と言われ、その時は時間的な余裕がなくて、応急処置で済ませた。長期の保証期間が今年10月で切れるため、やむを得ず修理に出した。HDD取り替えやその他修理してくれたが、出費はなかった。長期保証の恩恵に預かり、得したような気がしています。現在は新品同様に快調に操作ができています。パソコンなど高額の商品は長期保証制度利用するのが得策と認識しました。

なべ

☆：台湾から知人の子供が語学留学で来日したので少しお世話した。中国語と英語が話せるので、一人で来日しても不安げもなく堂々としていた。やはり、英語が話せるのは強みだなあと思った。両方話せないこちらの方が不安だったが、今は便利な物があり助かった。難題はスマホの翻訳アプリで全て解決できたが、身振り手振りが必要ないのもちょっとさびしい気がした。

miki*e

☆：毎年、5月頃から庭の植木の水まきは主人の日課となっていた。2箇所の水道の蛇口にホースを繋ぎ1時間位掛かっていた。この時期、水道代もはね上がり家計にもひびいていた。井戸に取り付けていた給水ポンプが壊れていたので新しい給水ポンプを購入した。ついでにホースも新しくしようと思いきって50mを購入した。水やりは、以前より少しは楽になったが大変さは変わらない。改めて主人に感謝している。

nishiguchi

☆：8月11日が「山の日」に制定された。山岳5団体の6年間の努力が実った。近年登山人口も増え、遭難者や死者・行方不明者数は年々記録を更新しており、60歳以上が過半数を占めている。「山の日」を契機に体力作りに励み健康寿命の延伸に努めたい。

もり

☆：山の日の高御位山頂での飲み物の接待は好評だったようで、来年もして欲しいとリクエストをして帰る登山者もいて、例年実施する事になりそうだ。神社の長谷川さんの話によると、夏の登山者は5時半から6時頃が一番多いので、このサービスがあると判って時間を合わせて登る人があるともっと増えるだろうとの事、会をアピールし入会者が増える機会になればと思う。

ヤマ

☆：美ヶ原・霧ヶ峰山行に参加した。計画当初から高山植物が咲き誇る7月を希望しての計画だった。情報通り美しい風景や花々に出会えた。そんな中、意外だったのは八島ヶ原湿原で飛び交う昆虫たちだった。蝶をはじめ多くのトンボ、蜂たちが何とも忙しげに飛びかい蜜を吸っている。昆虫の楽園のようだ。日本にもこんな素敵な場所があることは嬉しい。

r'sawa

会員だより 1609

☆：7月に涸沢フェスに行ってきました。百名山一筆書きで有名な田中陽希が涸沢フェスに来ており、上高地の西糸屋のカツカレーが好きだそうで、朝6時半に涸沢を出てザイテン、奥穂、吊尾根、前穂、岳沢を通り食べに行って、帰りは明神、横尾を通り涸沢ヒュッテに16時前についていました。さすがプロアドベンチャーレーサーですね。(コースタイムですと同じ時間に出て21時25分)

竹内

☆：「ザ・ビートルズ」が来日して今年でちょうど50年目。日本武道館での来日公演コンサートをテーマにした「来日50周年記念番組放送」がNHK-B Sであった。青春時代を思い出した。当時アルバイトで買って擦り切れる程聴いたLPレコード、捨てずに置いていた懐かしのレコードを出してきて久しぶりにプレーヤーに針を下ろした。懐かしの雑音まじりのアナログ音が流れ、青春が走馬灯の様に蘇ってきた。50年の時代が流れて私も今は60代後半ば・・・第二の青春を山で楽しむ。

Tomio

編集委員だより 1608

☆：最近、教師の盗撮や覚せい剤所持、また治安を守る立場の警察官による数々の不祥事（飲酒運転、暴行事件、窃盗、盗撮）などお粗末なニュースが多過ぎる。また、政治資金の使い方問題、弁護士の傷害罪などモラルの欠如は否めない。そして毎日のように聞かされる殺人事件など聞きたくないニュースも多い。もちろん一部の人の行為であり、迷惑している方には気の毒に思う。もっと明るいニュースを聞きたいと思う。

なべ

☆：家の横に水路がある。先日この水路に、雀が羽をばたばたしながら浮いて流れてきた。手ですくって上げてやったら指にしがみついている。みると羽根はほぼ生えそろっているがまだ雛である。そっと草むらにおいてやった。後で心配になり、見に行ってみたが、見当たらなかった。

Wada

☆：7月14日平和大行進に参加した。午前中の天気はどちらかというと曇りがちな天気であった。ところが午後出発時間の13時30分頃より雷雨に見舞われた。通常の雷雨なら30分位ですむのに、この時は降ったりやんだりは何と午後5時過ぎ、たつの市役所に到着するまで続いた。結果的には涼しくて良かったが、雨の強さには閉口した。しかし、終了後のビールの味は格別だった。皆さんも来年は味わいませんか？

r'sawa

☆：去年はほとんど花芽を付けなかった風蘭（富貴蘭）が今年は次々と咲きだした。日本原産の小さなランで、花は清楚で美しく高貴な香りがする。朝夕は特に良い香りを放つ。開花頃に鉢をあちこちに置き花と香りを楽しんでいる。むし暑いこの時期の天然清涼剤として活用している。

miki*e

☆：初めての山歩き教室実技最後の六甲ロックガーデンは、例年会員の参加も多く総勢40名前後の大人数となる。本年も別ルートを一コース設定したのを加えると、同程度の参加予定となった。ところが前日からの雨で、山行ありやなしの思案もあってか10名程のキャンセルが出た。何時も混雑する阪急芦屋川駅も今回ばかりは待ち合わせる人は当会のメンバーだけであった。振り返ってみると例年、梅雨の真っ直中にも拘らず雨が降った記憶が無い事に気付いた。しかし翌日の晴天での暑さに、雨でもそれはそれで少し涼しかったのかなと自己満足した。

ヤマ

☆：立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花。この百合の花は、可憐で清楚なササユリのことである。高御位山ではよく見掛けるが、6月の六甲山行で思いがけず出会った。我が高御位山遊会でも沢山出会えます。

もり

☆：夏山のボッカトレーニングに参加。砂を詰めて普段より重い荷物、いきなり桶居山の急坂で左足のふくらはぎに痛みを覚える。軽い肉離れだ。幸い痛みはあるものの歩行は可能だ。すぐにザックの砂を捨てて歩き続けた。翌日には幾分痛みも引いてきたのでやれやれだ。原因ははっきりしている。朝の日課ストレッチをサボった。めんどくさいけど運動前のストレッチは念入りに、特にいつもと違う山行のときは、と反省している。

fujimoto

☆：花言葉は「清浄、上品」のササユリに今年は何度も出会えた。白や淡いピンクの凜とした花姿に神々しささえ感じる不思議な花。近頃は少なくなっている貴重な花だそう。中国山地の真ん中で育った私は、子供の頃友達と競って花を求めて野山を歩き回った。摘んだ花を持ち帰り花瓶に挿すと家の中はササユリの甘い香りに包まれた。茎の上部を摘んでいたから、毎年同じ場所に咲いた。香蘭（コウラン）とも呼んでいた懐かしい花にいつまでも出会いたいと思う。

K. yamamoto

会員だより 1608

☆：これから夏山シーズン。総合力が試される沢登りを増やし、クライミングで初めての遠征、アルパインを目指し少し難しいコースへ挑戦。いつだって時間は湯水のように流れ、無理やり作らなければ空いた時間なんて出てこない。年々仕事や生活環境が変わっていく中で計画書作成に追われつつクライミング技術向上に体力アップ、その他もろもろにどれだけ励めるか...

きゅうり

☆：ボケ防止に、有効なりハビリ「里山登山」をお勧めします。身近には土曜トレ等で足元悪い中、膝のクッション、上肢下肢の筋トレ、山の上り下りに必要な脳と体の密接な意識しない連携があつてこそ、スムーズなこげにくい行動が生まれます。このことはどんな高価なトレーニング器具を使うより、自然と身につけ続けます。僕は幾つになっても里山登山を愛したいものです。

M. Hirai

編集委員だより 1607

☆：以前、迷惑メールについて書きましたが、今度は迷惑電話です。0120・・・や非通知、番号表示があるものもあります。番号表示があるものについては関係ありそうな電話のみ受けるようにしています。電話に出ないと長い呼出し音や1日に2回もかかってくる事があります。最近は携帯の利用が多いので、固定電話は受信専用の形になっており、呼出し音に「いらつく」ことが多い。番号登録しておいて受信拒否出来る電話機が欲しいと思う。

なべ

☆：6月に入り、玄関先の草花を春花から夏花へと植えかえた。例年、マリーゴールド・サルビア・ペチュニア等を植えていたが、今年はミニヒマワリ・ジニア（百日草）・ミニケイトウ等に変えた。特に理由はない。まあ、どちらにしても夏に強く手のかからない草花だ。これからどんな姿へと成長してくれるか楽しみだ。

r-sawa

☆：高砂市には愛称が付けられた4つの市道があり、起点と終点には愛称が刻字された標識柱がある。その1つが阿弥陀交差点～公園墓地までの鹿島幹線道路で、愛称は「鹿島サンロード」。太陽の「サン」、高御位さんの「さん」、鹿島さんの「さん」でサンロードと名付けたらしい。愛称で呼ぶことで市民や訪れる方々に親しみを持ってもらいたいそうだ。

miki*e

☆：うちのワン公、昼寝に良い季節になってきたのか、大の字になって大いびきをかいて寝ているのを見るようになってきた。気楽だなと思うが、ちんちんをおっぼりだしているのは何とかならんのかいと思う。

Wada

☆：Windows 10が発表され、Windows 7と8は無料でアップグレードできる。しきりにアップグレードの準備ができたと言ってくる。仕事場で使っているWindows 7は止めるわけには行かないので、そのまま使っていたが、ある日突然Windows 10にアップグレードしました。承認してください。という内容の通知が来た。驚いて不承認にしたらWindows 7への復元作業が始まって2時間くらいパソコンが使えなかった。こら！マイクロソフト！これは大迷惑。やりすぎじゃないか？

y. fujimoto

☆：今年も娘の嫁ぎ先にある洪柿に10カ所の接ぎ木を行った。先日確認すると8箇所からわずかな新芽が出ていた。去年は、新芽が出た頃にビニール袋を外した結果乾燥してほとんど枯らしてしまったので今年は慎重に新芽を伸ばして行きたい。

もり

☆：先日、主人の「運転免許証更新」のお知らせが届いた。昨年秋に主人が亡くなった時、免許証を返納しようか迷った。そのこともすっかり忘れていたが、突然のお知らせに少しびっくりした。主人の免許証は私の免許証と一緒に何時も持ち歩いていて、何故か安心感を覚えている。返納なくて良かった。

nishiguchi

☆：7月1日は「童謡の日」と言うことで調べてみると、「赤い鳥」という児童雑誌が初版された日で、鈴木三重吉が創刊し、亡くなるまでの18年間出版された。子供の純粋性を育むための童話・童謡を載せて世の中に広めるというもの。発刊されたのは1918年7月1日で、賛同者には芥川龍之介・泉鏡花・北原白秋などすごい人がいた。「童謡の日」とし日本童謡協会で制定されたのは1984年の7月1日との事。叙情あふれ郷愁にかられる童謡が失われつつある音楽界、少しでも後世に残すきっかけとなる日であればと思う。

ヤマ

会員だより 1607

☆：「三度目も 女性に支えられ 奥駆ける」「大峰は 行けども 行けども 新緑」「両部分け 椽ノ鼻 急登越えれば お釈迦さま」「アカヤシオ シロヤシオ シャクナゲの 競演に 感激す」「大日は 木の根 岩角にすがって 登りきる」「急登で 寿命を縮め 緑風が 寿命を延ばす」「何よりの おもてなしは 『四日間晴天』 なり」 “大峰奥駈道を歩く” 3回目を終わっての駄句です。

T. Ueda

☆：山容をみて山の名を言える人がいる、滝の写真をみて滝の名をいう人がいる。それぞれに特徴がありそれを的確に覚えているのだ。笠形山が見える職場にいて山の四季を眺めてきたのでこれが笠形山だといえる事が出来たが、今いろんな山の山容を見すぎて頭はごちゃごちゃしている。すっきりさせたいな～。

kakiuchi

編集委員だより 1606

☆：五月の連休は毎年、普段行わない家の内外の片づけを行っている。今年は押入れの片づけで、いつも使わない布団を処分することにした。布団の折りたたみ部分の変色を除き汚れはないので躊躇したが、直近10年余り使用機会がないことや羽毛布団の快適さに比較すると処分も仕方ないと思いつつ、すっきりできないでいる。

r'sawa

☆：熊本地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。5月11日現在、既に一ヶ月を経過しようとしているが、いまだ大小の余震が頻繁に続いており、被災された方々は不安な毎日をお過ごしのことと思います。余震があるため復旧作業もはかどってないようです。6月になれば梅雨に入り、今度は土砂崩れの心配があるなど問題が山積しています。ボランティアの活動体制など早く確立出来て、一日も早く復旧出来る事を願っています。

なべ

☆：20日前頃居候猫クロが急に元気がなくなり、食欲も無くなりぐったりしてきた。かみさんが、かかりつけ医のところへ連れて行くと、片肺が真っ白になっているとのこと。猫エイズか白血病か何かで、重篤な状況とのこと。4日前まだぐったりしているのでまた連れて行った。先の血液検査の結果が出ていて、エイズでも白血病でもなかった。クロは昨日から少し元気になってきた。

Wada

☆：世界自然遺産屋久島を訪れた。いつか宮之浦岳縦走を！と、想いを温めてきた。半年前から“晴”想定で計画した宮之浦岳縦走は雨に終わった。帰宅翌日は青空…久しぶりの太陽が眩しく恨めしく思えた。想い描いた景色は得られなかったが、堂々とした縄文杉、ひととき美しい苔が迎えてくれた。雨と大自然にとけ込んだ心に残る山行となった。

miki*e

☆：家の横に農業を止めてから全然使っていない古い農業用倉庫がある。農機具など置きっぱなし。気になっているが面倒なのでほったらかしだ。先日道具を取りに入ろうとしたらドアが雨でふやけて開かない。カづくで開けた途端、迷惑そうな顔のネコと目が合った。いつの間にか野良猫のお宅になっていた。雨漏りもしている。いずれ整理してすっきりしないと思いつつ今週も山に行く。やっかいだがなんとかせねばと焦る今日この頃。

y. fujimoto

☆：4月の新龍アルプス山行に初参加。溪流の音を聞きながら湿地帯を登って行くと突然タマビルの群れに遭遇。数人のズボンの裾に這い上がり急いで叩き落す。途中で足首がチクチクし確認するとソックスの上にたかっていた。噛まれた箇所から血が滲み出てくる。帰宅後、傷口に当てたティッシュは血で固まっておりソックスを洗うと水が真っ赤。ヤマビルを見るのも噛まれるのも初めての山行だった。

もり

☆：先日政治資金の私的流用釈明を舂添都知事がしていた。ほぼ毎週の別荘地通いに使う公用車、多額に上る海外出張費と、都民の税金を好き勝手に使う氏に対する批判は当然で、前都知事同様に辞任せざるを得ないかと思われる。これを見て4月に来日した世界一貧乏と言われるウルグアイのムヒカ前大統領を思い出す、月収のほとんどを寄付し平均的国民レベルの10万円程度の金額で生活しているとのこと。お二人に爪の垢を煎じて飲ませたいものだ。

ヤマ

会員だより¹⁶⁰⁶

☆：五月に入り庭が花盛りになった。蝶が飛んで来る。クマンバチが飛んで来る。通りがかりの人がのぞいて行く。庭に出ていると「なんという花ですか？」と、聞かれることがある。「バラです。」???「なんという名のバラですか?」「これですか?」「そっちの方の」「ムムムム」わざわざ私の知らないのを選んで聞いてくださる。もっとも大半は知らないのだが。庭でも山でも私に花の名を聞かないようにしましょう。

佐々木

☆：市民にとって利便性の高い新しい公共施設「高砂市立図書館」が、自宅マンション前に2月にオープンして、利用者も多いようである。どこの図書館でも同様であろうが、主要各社の新聞、子供向けの絵本類もたくさんあり、「山岳雑誌」なども置いてあって、今後、家の中の書類の減量化を考えている者には有り難い。

須増

☆：A精肉店が「美味しいコロッケ」をうたい文句にネット販売している。10年前は納期3年であったが、4年前は5年になっていた。その時どれほど美味しいのか気になったので注文した。そろそろ届く頃と思い問い合わせたところ、店からの問い合わせに回答して無かったらしく保留になっていて、届くのは2019年3月になる由。ガックリ！現在は13年待ちだそうで、店では受注をストップしている。それにしても物好きな人が多い（私もその一人）と思う。

なべ

☆：先月、2月に燕を見たとき書いた。実際に見たのであるが、それにしても信じがたい。ネットで調べてみると、載っていた。越冬燕というのが実際に観察されているのである。温暖化にもよるらしい。食べる虫もそれなりに居るのだろう。

Wada

☆：孫達を「播磨中央公園」に連れて行った。訪れたのは約30年振りかも知れない。あちらこちらの遊具に「使用禁止」の張り紙があり、トラロープで囲まれていたので少しがっかりした。妹は楽しくて飛び回り、姉は少し遊ぶと帰ってビデオ鑑賞したいと言う始末。双子なのに性格の違いが色濃くなって来た。「折角ここまで来たのだからもうちょっと遊ぼうよ……。」

nishiguchi

☆：作家の曾野綾子さんがテレビでしゃべっていた。アラブの知恵から学ぶ強く生きるヒント。例えば約束の時間に来ない人を日本人は許さない。相手を疑いもせずに信じているからこそだ。アラブ流に言えば他人を信じるな、自分も信じるな。つまり疑った上で信じるのが大事。どんな人でも100パーセント約束を守ることは不可能ということを悟る。そうしたらこんなことも許すことができるのだ。そういう強さが日本人には足りない。

Y. Fujimoto

☆：柿の接ぎ木の季節になった。昨年は娘の嫁ぎ先にある渋柿に前年接ぎ木した枝に6個の実が生ったので、更に数カ所接ぎ木をしたが、新芽が出た頃にビニール袋を外した結果乾燥してほとんど枯れてしまった。今年は、10カ所目標で枯らさずに新芽を伸ばして行きたい。

もり

☆：最近、パソコンに使用しているマウスが正常に使用できないので困っている。1クリックで、ウィンドウが3ページ出てきたり、クリックしても反応しなかったりだ。作業効率が実に悪い。メーカーに互換性のある型名を問い合わせているが、24時間経過しても返事がない。以前、パソコンメーカー以外のマウスを使用していて、あるソフトが作動しなかった経験があるので慎重になっている。どうしたものか？

r-sawa

☆：滋賀県の信楽の里の近くにある MIHO ミュージアムに行ってきた。入り口へと続くしだれ桜の回廊を見たいと以前から思っていたのだが、やっと実現できた。ちょうど近年話題の江戸時代中期の画家である伊藤若冲の絵画の展示もあったのだが、どちらも満足。暖かな春の一日を楽しむことができた。

ken²

☆：Eテレ（NHK教育）で日野原重明（104歳）と篠田桃紅（103歳）との対談を見た。お二方専門の医者と美術家との話ではなく、人生そのものを個性豊かに語る姿は、俗人には真似のできない威厳が感じられた。しかし「若い人がやる気（目標）のないのは、私達先輩（老人）に目指す人物がいらないからだ」と謙虚だ。

ヤマ 次ページにつづく

前ページよりつづく

☆：冬のあいだきれいだった庭は春を迎えると、ひと雨ごとにニョキニョキと草が伸びてくる。小さな芽や根っこも抜いていたのにと、生命力に感心する。これから暫くの間、蚊の攻撃に遭いながら草引きの季節になる。指先に適度の力と気持ちを込めて草を抜く。うまく抜けた時の満足感（・・・大袈裟だな）はストレス解消にもなる。これもけっこう楽しい。

k. yamamoto

☆：先日コープ機関紙「ステーション」の編集スタッフ&カメラマンが、高御位山と鹿島神社を取材に来た。読者へのアンケートで登りたい山に高御位山も選ばれたらしい。案内の一人として一緒に山を歩いた。満開のツツジと景色にとっても感動されていた。高御位山がどう紹介されるかとても楽しみである。

miki*e

編集委員だより 1604

☆：今日朝5時半頃の犬の散歩時、雲雀のさえずりを聞いた。この時期（3月6日）、この時刻はまだ朝が明けきっていないで、かすかに空が白けてきたばかりである。2月28日の高御位山縦走では鶯のホーホケキョを聞いた。カミさんは2月のいつだったか燕が飛んでいるのを見たと言っていた。信じ難く、見たと言っていた所へ行ってみたら確かに燕が飛んでいた。春や。

Wada

☆：3月に入った途端、山では鶯の鳴き声を聞くようになった。梅の花が咲く頃になると鳴き出すのだとか。まだ、鳴き声は未完成が多いように思う。高御位山を歩いていた時のこと、目の前の木にメジロが留まった。そっと近付いた途端逃げられた。メジロはお互いに押しあうように、ぴったりと枝に並ぶ習性があり、このことから、込み合っていることや物事が多くあることを意味する慣用語に「目白押し」があるそうだ。いよいよ春本番だ。

r-sawa

☆：「拝啓 配達員が注文番号××××の商品を配達するため電話で連絡を差し上げたのですが、繋がりませんでした。従って注文の品はターミナルに返送されました。ご注文登録時に入力していた電話番号に誤りがあったことが分かりました。このメールに添付されている委託運送状を印刷して最寄りの郵便局—日本郵政取扱郵便局までお問い合わせください。 敬具

郵便局—日本郵政：〒・・・東京都・・・」

このようなもっともらしい迷惑メールが届き、うっかり添付ファイルを開いてしまうところでした。ウイルスに感染の恐れもありました。クワバラ クワバラ。皆様もご注意を！

なべ

☆：今年も「六甲全縦、西半縦」にエントリーしていたが、東半縦受付の手伝いをする事になった。新神戸駅に7時に到着すると既にエントリーをしている人達でごった返していた。別段手伝いはなく受付をされている皆さんの仕事振りを側で見学をさせて貰っただけだった。全縦ゴール地点でお世話している方々の撤収作業は、22時をとうに過ぎた時間になっていたようだ。寒く降雨の中、本当にご苦労様だとつくづく感じた。

nishiguchi

☆：兵庫労山主催の六甲全山縦走に初参加した。最初の難関である菊水山では余裕を持って登坂できた。これは日課としている登山時報 No. 481のふくらはぎの筋トレや No. 489の踏み台昇降の成果と自己満足している。また2月の全縦トレでは体調不良によりガーデンテラスでリタイアとなったため、本番前に5日間の断酒で体調を整えて臨んだ結果、無事完走することができた。来年もこの試みを検証してみたい。

もり

☆：タニタの体重体組成計を購入した。基礎代謝はもちろん体脂肪率、体水分率、筋肉量や骨量が計れる。体内年齢や部位別に脂肪率や筋肉量も表示される優れたものである。前から気になっていた体組成を知ることができた。計ることから健康を意識し基礎代謝の向上につなげたい。

miki*e

☆：猫は寝子ともいわれるほど、1日の大半は眠っている。13年居る我が家の老猫なら尚更だが、お昼近くになると決まって外に出たがる。いつものように勝手口を開けてやった。立ち止まってしきりに鼻をピクピク動かしたあと「きょうは止めとこう！」とでも言うようにくると背を向けた。もしかして寒いのが分かったのかなとネットで検索してみた。「猫の鼻は温度計の役割もする」とある。猫のことをもっと知りたくなった。

k.yamamoto

次ページにつづく

前ページよりつづく

☆：瀬戸内の春の風物詩とも言うイカナゴのくぎ煮のシーズン到来である。今年は10数年振りの不漁との事で、一向に安くなる気配はなく、1kgが2000円前後と超高めである、しかしこの連日どこかでイカナゴを炊くいい香りが漂う。我が家も自分の家では食べなくとも親族、知人に送るべく高いイカナゴを炊いている。

ヤマ

☆：久しぶりに映画を見た。岡田准一主演！『エヴェレスト 神々の山嶺』。岩登りの最中に落ちたとき、ロープ1本でミノムシみたいにぶら下がった人間が自力で助かるシーンがあった。よく見るとなんと学習会で習ったクレムハイストを空中で使って縄梯子にしていた。へー、あんな使い方があったとは・・・。よし、ロープワークの練習ヤル気が出てきたぞ。

Y. Fujimoto

☆：また、犬の話である。我が家の犬の年齢は12歳半である。まだぼける歳ではないとおもうが、この1ヶ月に3度も家の中でそそをした。これまでに無かったことである。また最近気が付いたのだが、殆ど耳が聞こえなくなっているようである。近くで呼んでも気付かない。体に触ったら初めて気付く。老化だろうか？

Wada

☆：ひめじ別所駅で往復乗車券を購入しようと思ったが、窓口は閉鎖されており、駅員は見当たらない。呼出しボタンがあったので押すと音声で用件を聞かれた。往復を買いたいと言うと××のボックスに行くように言われ、そこに行くとお〇〇円を券売機に入れ下さいと言われた。入金すると往復切符とお釣りが出てきた。どこでコントロールしているのかは分からないが、自動販売機と対話している感じで味気ない気分である。幹線の駅でも無人化が進んでいることに驚かされました。3月からは「みどりの窓口」の機能も備える由、これも時代の流れと思いました。

なべ

☆：笠形山山行に参加した。この山行は例年2月、扁妙の滝氷瀑見物もかねて実施される。ところが今年は3月下旬から4月の気温の中の山行となった。氷瀑には出会えなかったものの、山頂で素晴らしい空の色に出会えた。空の色は虹の色の緑・藍・紫・黄・橙・赤など太陽の光が影響しているとか。何ともいえない澄んだ青色中心のグラデーションに感動できた山行となった。

r-sawa

☆：古い会報の巻頭言をみていたら「楽しく生きようオマケの人生」というのが目についた。前にも読んだはずだが再び読んで気になったので林住期という言葉の載っている五木寛之氏の「林住期」と「下山の思想」を読んでみた。林住期は登山で言えば下山に相当。50過ぎの時間はオマケにちがいないが、「オマケの人生」を「人生のオマケ」にはしたくないと氏は説いている。?!?うーん、わかるような気もするけどよくわからん。

Y. Fujimoto

☆：昨年に続き今年も六甲全山縦走トレに参加した。昨年は菊水山への登坂が息絶え絶えだったがなんとか完走できた。今年は余裕を持って登坂できたので、六甲全山縦走の完走を目指して登山時報(No. 481, 489)の筋トレを毎日やっている。しかし途中体力不足で足が上がりず、残念ながらガーデンテラスでのリタイアとなった。3月の本番には万全の態勢で臨みたい。

もり

☆：「高御位山5千日連続登頂」をされた中田さん(76歳)に、是非逢ってみたいと思っていた。2月11日、高御位山に登った時その願いは突然に叶った。感激してお話を聞かせて貰った。「ストップウォッチを持って登っていて、今の山行タイムは16分。山行タイム20分は一応の目安。継続して登る事が大事だ。」と、にこやかに話された。本当にびっくりボン!!

nishiguchi

☆：唐の詩人である杜甫の「曲江」という詩句に「人生七十古来稀なり」という一節がある。長寿社会の現在では、「稀」では無くなったとは言え、根気・元気が減退したと感ずるので、古稀を転機に筆を擱くことにします。長年のご清覧に感謝 感謝!

中嶋

☆：節分の頃私の故郷では、月桃の葉に包み蒸した餅を食べる風習がある。その餅は鬼退治のいわれがあり「ムーチー」という。邪気払いと子供の健康を祈願する行事で、小さい頃は歳の数だけ食べた元気に大きくなれると教えられた。今年も月桃の香りに包まれたお餅が届いた。故郷の行事食を頂き、節分には豆まきをした。無病息災の一年でありますように。

miki*e

次ページにつづく

前ページよりつづく

☆：山本正さんが2名になって「正」を他の字で表現できないかと模索中「正」の字の大変な成り立ちを知った。「一」は城郭でかこまれた町、「止」はそれに向かって進撃することで、敵を征服して税を収めさせることは正当であることから「ただしい」と言う意味になったそうだ。

ヤマ

☆：待ちに待った高砂市立図書館が米田町に新設オープンした。30年近く前から計画されていたのだが、市の財政が悪化したり、用地とされていた多目的広場が阪神淡路大震災の後に仮設住宅に使われたりで延び延びになっていた。これまではウェルネスパークにある加古川市の図書館のお世話になっていたのだが、我が家からも近く大いに利用させてもらうつもりである。

ken²

☆：先日、知人から荒井川の側で大きな木を伐採していると情報が入る。もう来年の薪を段取りしなければならぬ時期だ。でも彼方此方の工事現場で切り倒された大きな木は、適当なサイズに玉切りされて、行く末は塵埃処理場の炉へ直行便である。そして、燃料を使って焼却処分である。ああ、もったいない。大きい木だと、ほぼ一年分の薪が取れるのになあ。自然派男のひとりごと。

E n y a

編集委員だより 1602

☆：オランダを旅し美術館巡りをして来た。アムステルダム国立美術館のコレクションを占める2大画家レンブラントとフェルメールの名画を堪能した。パリ同時多発テロ以来、欧州への旅行は不安である。止めるべきか出発直前まで悩んだが、それを忘れてしまうほど静かな美術館巡りが出来ホッとした。平和が保たれ、どの国へも安心して旅ができるようにと願う。

miki*e

☆：臥牛山山行で岡山県の高梁駅で下車した。この駅は昔（66年前）田舎の親戚に行く時、蒸気機関車で走る列車で高梁駅に到着、バスに乗り換えた。戦後間もないこの時期のバスは木炭車で出発前に運転手がバスの後部にあるかまどに薪を入れ出発の準備をしていたのを懐かしく思い出した。木炭車で走るバスに乗った経験者は高御位山遊会のメンバーでも数少ないのではと思います。

なべ

☆：新しいカレンダーを開きスケジュールを書き込んでいく。定期的な予定も多くページは埋まっていく。今年はどうなるのだろうか？期待と不安が入り混じりというところだ。一緒に行動する人たちは同年齢が多い。出てくる言葉も同じことが多い。そんなみんなの合言葉は「明るく、楽しく、前向きに」だ。

r*sawa

☆：7年ぶりにGPS受信機を買い替えた。悩んだ末US版を。多国語対応だが日本語だけ抜いてある。パソコンなら世界中の言語が使えるのに。なぜいつも日本だけ？機能を付加した日本語版は高額で日本の代理店が独占販売という悪の連携プレー。もうええわ、意地でも日本語版は買わないと決めた。台湾のメーカーサイトに日本語フォントがあると聞き、インストールしたら日本語地図が見られるようになりました。めでたし。ヽ(´o`)ノ

Y. Fujimoto

☆：2016年、今年目標が出来た。知足…足るを知る。昨年は断捨離に憧れたものの、何一つ捨てられずにモンモンと過ぎてしまった。今年こそは…。先ずは物欲を何とか知足で抑えられないものか…さすれば、おのずから断捨離にもつながるのでは…と一石二鳥をもくろんでいる。二兎を追う者は一兎をも得ずになるかもしれないが、心して一年を過ごしたい。

グッチ

☆：昨年、今話題のふるさと納税を地元でしました。年末に有名なお肉屋さんのすき焼き肉が届き、年が明けてフラワーセンターからランの寄せ植えが届きました。春になると加西産のトマトが届く予定です。所得税、住民税の控除も有り難いですが、お礼の品で地元の特産品がいただけるのが嬉しいです。これで、また地元の事業や産業も活性化するのでしょうか。

Ouchi

☆：退職してからは遠ざかっていたラジオ体操。朝のガラガラ感を解消しようと再開した。ある朝「全身の筋肉を動かすことで身体を目覚めさせ、免疫力のアップにもつながります」体操のお兄さんの声が耳に入った。学生時代も職場でも面倒な存在であったが、こんないいものをやらない手はないと勢い付いた。ストーブの前で寛ぐネコ。「ウ～ン、朝からなにやっているの～」と言いたげに時々顔をあげる。

K. yamamoto

☆：定年を機に高御位山遊会に参加させてもらってから、早8年目を迎えることになる。振り返れば光陰ロケットのごとくである。この間に何をしてきたのか？過ぎたるは及ばざるが如しである。“人生暇つぶし”と割り切るにしても、日々ちょっとでもより意味のあるように送るようにしたい。「今日は、これからの残りの人生で考えれば一番若い日であり、その最初の日でもある。」

ken² 次ページにつづく

前ページよりつづく

☆：ANAの羽田⇄シドニー空路開設で初ツアーの募集があり、年末の1週間オーストラリアに行ってきた。真夏であったが20℃～25℃と快適な気候、気温であった。初めて夏のクリスマスを経験し、当日は休日のため予定していた公園の便所も閉まっていたガイドが慌てる場面もあったし、土産物屋では多くの日本人移住者が働いていた。公園もよく整備されていて治安も良いが日本より物価が高いように感じた。

「な」

☆：ネットに犬が寝言を言っている動画があった。そのすぐ横で主も横になっていて、寝言のまねをしている。すると犬はそれに呼応するかのように更に寝言を言っている。家の犬も時々寝言を言う。どんな夢を見ているのやら。

Wada

☆：暮れの大掃除に何年振りかで、床の間の畳を上げて掃除をした。体力不足のせいか、畳が湿気たせいかは不明であるが、その重さに閉口した。腰を痛めては大変と、十分に干さないまま、そそくさと元に戻し大事なく終わった。

ヤマ

☆：「高御位山5千日連続登頂」の記事が、神戸新聞に掲載された。加古川市在住の中田さん(76歳)は、2000年5月7日から登り始め、1月13日に達成されている。雨の日は傘を差し、台風接近時は暴風域の時間帯を避ける等々。凄いの一言に尽きる。いつまでもお元気で記録をもっともっと伸ばして欲しいと願っている。

nishiguchi

編集委員だより 1601

☆：私はインターネット上に投稿された無料動画を良く見る。かわいい動物もの、おバカさんもの、感動もの、へえーっそんな事があるの等色々有る。なんか何をやる元気も無いなあというとき、こんなものを見ているとほっとする。

Wada

☆：毎朝通る線路沿いの道端に、小さな花が咲いていて目を楽ませしてくれる。暑いときも寒いときもその折々で入れ替わって常に何種類か花が咲いている。花の名前が気になって調べようとするのが非常に難しい。最近、ネットで「みんなの花図鑑」というサイトを見つけた。これはすごい。名前を知らない花の写真をアップすると早ければ1分と経たないうちに花の名前を教えてくれるサイトです。

Y. Fujimoto

☆：「感謝、感激をありのままで・・・」のメッセージで故郷から同窓会の案内が届いた。中学の同窓会で12年に一度行われる。9クラス、425人の同窓生がいる。実行委員の方のお世話に感謝する。前は都合がつかず参加を見送った。なので、殆どの方と24年ぶりに会う事になる。今の私の「ありのまま」の容姿にみんな気が付いてくれるだろうか？懐かしさとドキドキでその日が来るのを楽しみに待っている。

miki*e

☆：新年おめでとうございます。皆さまは新年をどのように過ごされるのでしょうか？私は例年、年末のおせち作りや掃除に続き1日は午前中、高御位山へご来光登山、午後は姫路総社へ初詣、その後お気に入りの福袋購入を目指してパートめぐり。2日は自宅で親戚を交えて食事会。3日は新春トレーニングで高御位山、桶居山縦走へ参加と3日間はあっというまに過ぎていきます。新年が皆さまにとって良い一年となりますように！

r*sawa

☆：長らく制作を進めてきた中国歴史サイトが、フジテレビで紹介されることになったと香港にいる息子から朗報が入る。1月12日より放送のBSフジ『キッズの論語プログラム』の孔子の論語資格講座の中で写真や地図を使用したいとの依頼だったようだ。ソウル編では、私たち夫婦が写る写真もあり思わず笑ってしまった。制作中のサイトと番組は、

「な」

☆：最近ネット販売のメールが急激に増えた感じがする。PCアドレスをどこで入手したのかは分からないが、毎日沢山の宣伝メールが勝手に送信されてくる。中には新製品の紹介や興味のある商品、参考になる内容のメール、こちらが希望した情報も含まれているので、一括削除も出来ないのが困る。一方、同じ品物（型番などで対比）でもネット価額の方が市販品に比べて割安の物が結構あるため、上手く利用すれば安く入手出来るのが魅力で最近ネット購入の機会が増えている。

なべ

☆：月と金星の超接近天体ショーを見た。6年毎にある現象らしい。いままでも無意識のうちにそんな月と金星を見ていたかもしれない。翌日も同じ様に明け方の暗い空を見上げた。澄んだ空に無数の星が瞬くが、満天の星空には程遠い。しかし、この高御位の山裾でも幸せな気分になれるこの星空。PM2.5でこの幸せな気分が壊されることのないよう切に願いたい。

グッチ

☆：女性で初めてエベレストを登り、75ヶ国の最高峰を踏破した田部井淳子さんの番組があった。福島出身の彼女は東京の女子大に入学し、田舎者のコンプレックスで自殺まで考えたらしい。その時出会った登山が彼女を救ったとか。人の命を救う山登りの素晴らしさを改めて痛感した。

もり 次ページにつづく

前ページよりつづく

☆：「奇跡のリンゴ」をご存知でしょうか。11年かけて無肥料、無農薬の自然栽培でリンゴを実らせた木村秋則のことです。彼のリンゴ園をNHKが何年か前に取材、放送した「忍び寄る農薬汚染」で全国に大きな反響をあたえ、彼のリンゴが欲しいと全国から電話が殺到したそうです。今、彼の本に熱中しています。興味のある方は是非一度覗いてみてください。自分の人生や生活が変わるかもね。

Enya

☆：「ヒッヒッ、キッキッ」ことしもジョウビタキが裏庭にやってきた。台所の窓辺のそばのムクゲに止まって尾っぽをご機嫌に動かしている。まるで挨拶をしてくれているかのよう。ようこそいらっしゃいました、と、小さく切った柿の実をムクゲの枝に挿してみる。お好みではなかったかしら、うんともすんとも近寄らない。やっぱり木の実がいいんだね。おいしい木の実をいっぱい食べて、来年は家族そろって来てくれると嬉しいけど。

k. yamamoto

☆：機関紙新年号の表紙に御来光の写真を提供したいと模索していて、夕日か朝日かわからない写真がある、時間・場所を特定すると判るが写真だけでは判別が難しい。これと似たように区別の難しい「まばたきとめくばせ」、「怒と恕」とか似た言葉で意味のまるで違う語を思い出した。

ヤマ